

財産分与調停について

1 財産分与調停とは

協議離婚に際し、相手方に対して財産分与の請求ができますが、その話し合いがまとまらない場合などに、家庭裁判所の調停手続を利用することができます。調停手続では夫婦が婚姻中に有していた実質的な共有財産の清算方法について話し合うことができます。この手続は非公開で行われます。

2 財産分与調停の申立て

財産分与調停を申し立てるためには、申立書を作成して家庭裁判所に提出する必要があります。原則として、対立する当事者(相手方)が実際に居住している地域にある家庭裁判所に申し立てます。詳しいことは最寄りの家庭裁判所にお尋ねください。

申立てのためには、原則として、次の(1)から(5)が必要となります。(6)、(7)については調停の進行上参考にしますので質問にご回答の上、申立書と一緒に提出してください。

- (1) 収入印紙(1200円分)
- (2) 郵便切手(100円2枚, 84円10枚, 10円10枚, 合計1140円。山口家裁本庁以外に申立てをする場合は申立先の家庭裁判所で確認してください。)
※ 収入印紙及び郵便切手は裁判所では販売していません。郵便局等で購入してください。
- (3) 申立書(申立人の認印が必要です)及びそのコピー
- (4) 離婚時の夫婦の戸籍謄本(離婚により夫婦の一方が除籍された記載があるもの。本籍地の市区町村役場で取得できます。)
- (5) 離婚時の夫婦の財産に関する資料(不動産の登記事項証明書, 固定資産税評価証明書, 預金通帳の写しや残高証明書など)
- (6) 送達場所等の届出書(口変更届出書)
- (7) 進行に関する照会回答書

3 注意事項

- (1) 裁判所に提出する書類は、相手方が見る可能性があります。
別添「調停・審判手続における情報管理・書面提出について」を必ずお読みください。
- (2) マイナンバーの記載された書類を提出しないようにしてください。
別添「マイナンバーの取扱いについて」を必ずお読みください。

4 財産分与調停手続の進め方

通常は申立後約2週間以内に申立人と相手方に家庭裁判所から調停の期日が通知されます。家庭裁判所にきていただく初回の期日は、通常は申立てから1か月程度先となります(別紙の「**婚姻費用分担, 財産分与, 養育費, 面会交流, 親権者変更等 調停手続の流れ**」を参照)。

調停は、原則として裁判官及び民間の有識者の中から選ばれた家事調停委員2名(男女各1名)が調停委員会を構成して手続を進めますが、通常、期日では家事調停委員2名だけで話を伺います。申立人と相手方から交互に話を伺いますが、双方同席の上で話を伺うこともあります。

5 調停で決まったことを相手方が守らないとき

相手方に守るよう促す履行勧告の申出を家庭裁判所にすることができます。また、調停調書正本等に基づき地方裁判所に強制執行の申立てをすることもできます。

6 調停で話し合いがまとまらなかったとき

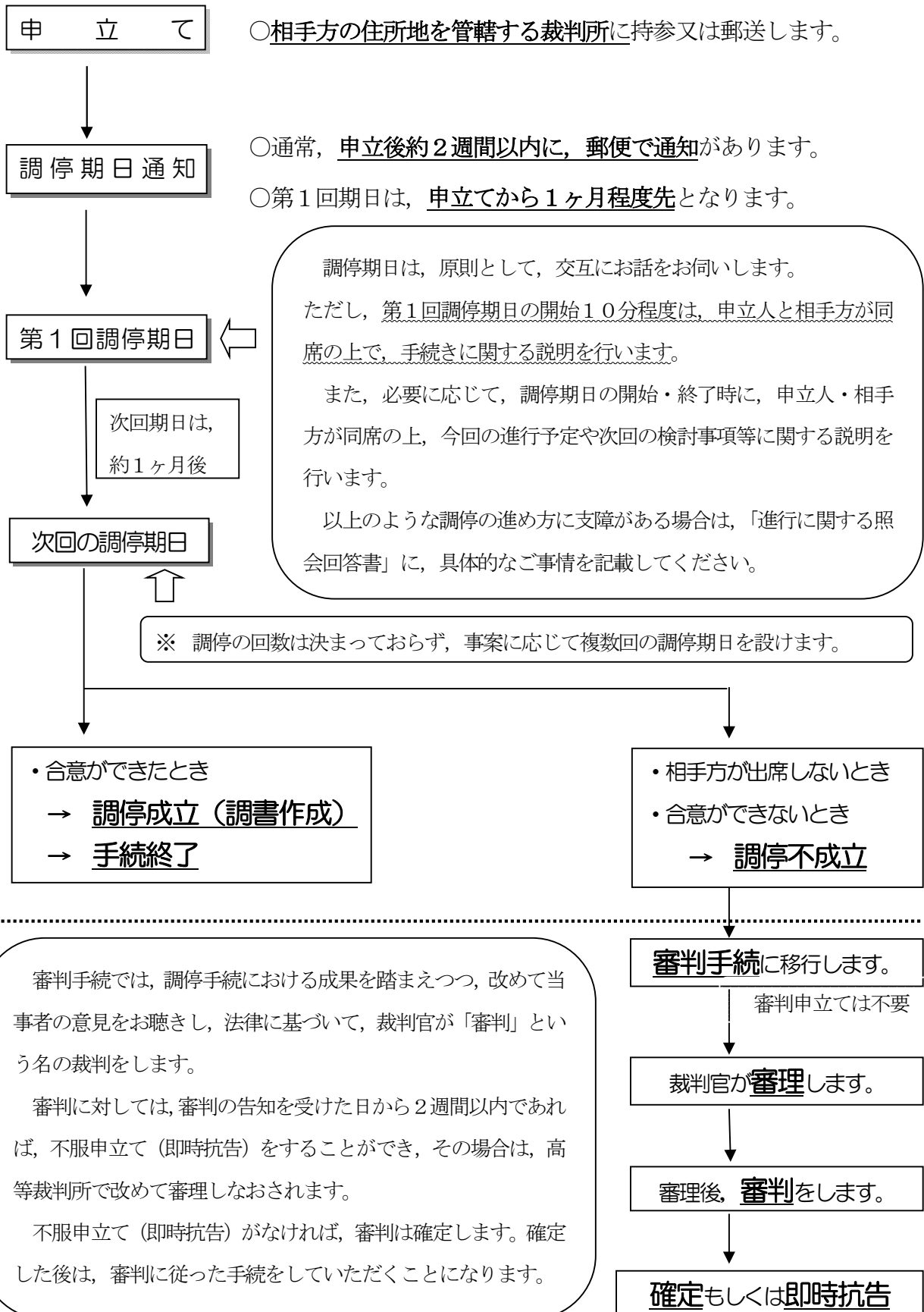
相手方がどうしても調停に出席しないときや話し合いがいつまでも平行線をたどり合意ができず調停が不成立になった場合には自動的に審判手続が開始され、裁判官が一切の事情を考慮して審判をすることになります。なお、審判の結果が納得できない場合には、不服の申立て(即時抗告)ができます。

7 分からないことがあったとき

手続面については担当の書記官がお答えしますが、婚姻費用分担金はどのくらいもらえるのかといった調停の見通しについては、家庭裁判所ではお答えできませんので、弁護士等にご相談ください。

調停手続の流れ

(一般的な流れを示したものです。)



調停・審判手続における情報管理・書面提出について (大切なお知らせです。必ずお読みください。)

山口家庭裁判所

○ 原則（提出書類は他の当事者から見られたり、コピーを取られたりする可能性があります。）

提出された書類は、他の当事者（以下「相手」といいます。）による閲覧・謄写の対象となるため、その書面を相手は見ることができます。また、調停委員会や裁判所関係者に口頭で話された内容も、裁判所は中立の立場であること及び手続の透明性の観点から、一部の当事者の意向に迎合して相手に秘密にするとすることはできず、当事者及び調停委員会は同じ情報を持ったうえで、手続を進めることとなります。この原則を踏まえて裁判所に提出する書面の作成、提出書面の適切な選択及び調停委員会や裁判所職員への発言等して頂く必要があります、特に個人情報やその推知情報（推測を可能にする情報）については、自己管理を徹底して情報が伝わらないようにして頂きますようお願いいたします。

○ 例外（相手に知られると生命身体の安全に関わる情報等の場合）

1 提出する書面に、相手に知られたくない情報が書いてある場合

(1) 書面を提出するときは、以下の点に注意してください。

① あなたが作成する書面（申立書、答弁書、陳述書など）には、相手に知られてもよい内容を記載してください。

② 裁判所に書面を提出する際は、相手に知られたくない情報やこれを推知させる情報が記載されていないか、必ず確認してください（所得証明書、源泉徴収票、給与明細書、診断書には、住所や勤務先などの個人情報が記載されています。お子さんの通知表には、学校名など住所を推知させる情報が記載されています）。

③ 相手に知られたくない情報が記載されている書面は、その部分を読み取ることができないよう、黒塗り等のマスキング処理をして提出してください（裁判所がマスキングをすることは認められていません。）。

④ 個人番号（マイナンバー）が記載された書類は、必ずマスキング処理をして提出してください。

(2) 相手に知られたくない情報が記載されているが、裁判所の判断資料にするためにマスキング処理ができない書面を提出する時は「非開示希望申出書」を当該書面の一番上にホッチキス留めして提出してください。

※「非開示希望申出書」は、提出する書面ごとに添付していただく必要があります。前に非開示希望申出書を添付して提出した書面と同じ内容が記載されていても、次に提出する書面に非開示希望申出書が添付されていない場合には、当該書面は非開示希望がないものとして取り扱います。

※「非開示希望申出書」が添付された書類であっても、裁判官の判断によっては、相手が見たりコピーをとったりすることを許可する可能性があります。
申出書には詳しい事情を記載してください。

2 調停・審判手続の中で配慮をして欲しいことがある場合

提出書類の中は現れていないが、調停委員に口頭で話した内容について相手に知られたくない情報がある場合は、裁判所に対し、配慮を求めることができます。ただし、あくまでも「配慮」ですから、自己管理を徹底して下さい。

配慮を希望する場合には、「秘匿配慮希望申出書」を提出してください。

以上

※非開示希望書類を提出されない場合は本書面は必要ありません。

令和 年 (家イ・家) 第 号

非開示希望申出書

令和 年 月 日

氏名 _____ 印

裁判官の措置	
令和 年 月 日	
相当	不相当

1 別添の書面については、次の2の理由により非開示とすることを希望します。
非開示を希望する書面ごとにこの申出書を作成し、本申出書の次に非開示希望書面をステープラー
(ホチキス) で留めて、提出してください。

書面の一部のみ非開示を希望する場合は、非開示希望部分をマーカーで色付けして特定してください。

2 非開示を希望する理由は、以下のとおりです。(当てはまる理由にレ点を付けて
具体的な事情を記載してください。)

事件の関係人である未成年者の利益を害するおそれがある。

※ 当事者の未成年の子どもの健全な育成が阻害されるなど、子の福祉に悪影響を及ぼすおそれがある場合など

.....
.....

当事者や第三者の私生活・業務の平穏を害するおそれがある。

※ 秘密にしている住所や勤務先などが知られると相手から暴力を受けるおそれがある場合など

.....
.....

当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、
その者が社会生活を営むのに著しい支障を生じたり、名誉を著しく害するおそれがある。

※ 病歴や犯罪歴などの秘密が明らかになり、通常 of 社会生活を送るのに問題が生じたり、名誉を害するおそれがある場合など

.....
.....

その他

.....
.....

※非開示希望申出書を提出しても、裁判官の判断により、非開示希望書類

及び本書面が他の当事者に開示される場合があります。

本申出を撤回する。	令和 年 月 日	申出人	印
本申出の撤回を確認した。	令和 年 月 日	裁判所書記官	印

ステ
ー
プ
ラ
ー
(
ホ
チ
キ
ス
)
で
留
め
る

令和 年（家）第 号

送達場所等の届出書（□変更届出書）

- ※ 該当する□をチェックし、記入欄に記入してください。
- ※ この書面は相手に見られる可能性があります。相手に見せないことを希望される場合には、「非開示希望届出書」を添付する必要があります。
- ※ この届出に基づいて特別送達でお送りした郵便物は不在等の理由で受領されなかった場合も、法律上その書面を受領したものと扱われます。

1 送達場所

標記の事件について、私に対する書類の送付・送達は次の場所宛にしてください。

(1) 送達場所

申立書記載の住所

次の場所

〒 _____
_____ (_____ 方)

(2) あなたと送達を受けるべき場所との関係

住所 就業場所（勤務先）

その他（具体的に記載して下さい。）

(3) (1)の場所にあなたが住んでいない場合、その場所で書類を受け取る人

受取人を届け出た場合、受取人宛に郵便を発送しますので、受取人にその旨連絡してください。

受取人氏名 _____

あなたとの関係 _____

2 平日昼間(8:30~17:00)の連絡先（①から③の順に電話をかけます。）

	電話番号	裁判所を名乗ること	時間帯（※）
①	— —	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否	: ~ :
②	— —	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否	: ~ :
③	— —	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否	: ~ :

※ 電話を受け取れる可能性の高い時間を記載してください。

3 上記1以外の連絡先（郵便の送付先）は下記のとおりです。

〒 _____
_____ (_____ 方)

山口家庭裁判所 御中

令和 年 月 日

氏名： _____ 印

進行に関する照会回答書（申立人用）

この書面は、調停を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)、空欄には自由に記入して、申立ての際に提出してください。この用紙を相手方に見せることはありません。

1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない。(理由にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他						
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	<input type="checkbox"/> 応じると思う。 <input type="checkbox"/> 応じないと思う。(理由にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 意見があまりにも食い違っているから。 <input type="checkbox"/> 本気で解決する気持ちがないから。 <input type="checkbox"/> 裁判所で解決する気持ちがないから。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 分からない。						
3 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 <input type="checkbox"/> 進められないと思う。(理由にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的になっているから。 <input type="checkbox"/> 意見があまりにも食い違っているから。 <input type="checkbox"/> 相手方の性格に問題があるから。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 分からない。						
4 この申立てをすることを相手方に伝えてありますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。						
5 相手方の暴力について記入してください。	<p>1 相手方について暴力の心配はありますか。 <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない</p> <p>※1で「ある」と回答した方は次の2～5にも回答して下さい。</p> <p>2 相手方からの暴力はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/>身体的暴力 <input type="checkbox"/>精神的暴力 <input type="checkbox"/>性的暴力</p> <p>3 相手方の暴力で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない</p> <p>4 配偶者暴力に関する保護命令の申立てをしましたか。 <input type="checkbox"/>はい→保護命令は出ましたか。 <input type="checkbox"/>はい(保護命令決定書謄本のコピーを提出してください。) <input type="checkbox"/>いいえ <input type="checkbox"/>いいえ</p> <p>5 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/>裁判所で暴力をふるう心配はない。 <input type="checkbox"/>申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/>裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるう心配がある。 <input type="checkbox"/>裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/>裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>()</p>						
6 現在治療中の病気がありますか。	<input type="checkbox"/> 申立人 (病名) <input type="checkbox"/> 相手方 (病名) <input type="checkbox"/> 子ども (名前 病名)						
7 調停進行に関して裁判所への要望があれば記入してください。							
8 調停期日の差し支え日等があれば書いてください。(調停は平日しか行われていません。)	差し支え日 曜日 午前 ・ 午後 (すでに差し支えることがわかっている日→)						
9 職業及び勤務先	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">職業</td> <td style="width:50%; text-align: center;">勤務先</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〒 ー</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">名称</td> <td style="text-align: center;">電話</td> </tr> </table>	職業	勤務先	〒 ー		名称	電話
	職業	勤務先					
〒 ー							
名称	電話						

令和 年 月 日 申立人 (氏名)